



## 予選レポート

### 2022/5/21 Rd-4 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：19℃ 出走台数：21台

九州唯一の国際サーキットオートポリスは、国内サーキットでもっとも標高の高い位置にあり、梅雨の始まるタイミングによって、清々しい晴天か、霧の中の雨天か、両極端なコンディションとなることが多い。昨年は荒天の中、予選では赤旗が続出、決勝も赤旗による途中終了になったが、今シーズン第4戦の予選日は、朝のフリー走行こそWET宣言となったものの、予選開始時には気温19度、路面温度は30度まで上がる絶好の観戦日和となった。

第1予選A組の牧野選手は、コースチェックのためコースオープンと同時に中古タイヤでコースイン。チェックランの結果、1計測ラップ目のアタックがベストと判断し、真っ先に新品タイヤを装着してアタックに向かった。この戦略が功を奏し、牧野選手は首位で第2予選へ進む。

B組の大津選手は、牧野選手とデータを共有し、同じく1計測ラップ目のアタックへ向かう。ところが、路面温度上昇のためか、車のバランス変化が大きく、最終コーナーではコース外に脱輪しながらもコースに留まり4番手で第2予選に進む。

第2予選に向けセットアップ修正をした両ドライバーは、第1予選同様1計測ラップ目のアタックに向け、予選残り3分でコースへ向かう。牧野選手は第1セクター、第2セクターとタイムを更新し暫定首位に。しかし野尻選手、宮田選手が第3セクターでタイムを更新し3位となった。大津選手は第2セクターでバランスを壊しハーフスピン、大きくタイムロスし10位で予選を終えた。

#### 5：牧野任祐 選手 予選3位 (第1予選A組1位 第2予選3位) HONDA 勢2位

朝の走り始めから車のフィーリングはとても良かったのですが、フリー走行で予選シミュレーション時にコースアウトしてしまい、最終確認ができないまま予選に臨みました。予選においても車の状態はとても良く、戦略も決まって第1予選は首位で通過できました。しかし第2予選では路面コンディションの変化にセットアップを合わせきれず、特に第3セクターでタイムロスしてしまいました。明日は3番グリッドからのスタートで、十分トップを狙えるポジションです。今季1勝目を目指して頑張ります。

#### 6：大津弘樹 選手 予選10位 (第1予選B組4位 第2予選10位) HONDA 勢5位

朝のフリー走行から非常に良い手ごたえを感じていて、自信をもって予選に臨みました。しかし、第1予選、第2予選共に車の限界を超えるドライビングとなり、大きくタイムロスしてしまい悔しい結果となりました。ただ車のポテンシャルは高く、決勝では様々なことが起こるでしょうから、柔軟に対応して、まずは表彰台フィニッシュを目指したいです。